
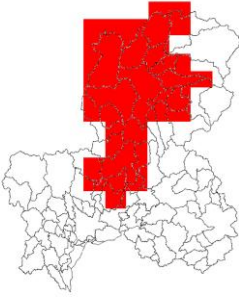


モメンツル	<i>Astragalus reflexistipulus</i> Miq.	準絶滅危惧
		マメ科
選定理由	もともと生育地も個体数も少ないうえに、生育環境が悪化している。	写真(清水英彦)
形態の特徴	茎はやや這い、高さ30-90cm。葉は奇数羽状複葉で、長楕円形の小葉をつける。花は長さ約12mmで黄色。葉腋から伸びた柄の先に8-15花を総状につける。豆果は、細毛があり細い円柱形で湾曲して直立し、長さ約4cm。	
生態的特徴	マメ科の多年草。花期は6-8月。山麓の草地に生える。道路端に生育することもある。	
分布状況	北海道から本州関西地方に分布する。岐阜県では、主に県北部の限られたところに見られる稀な植物である。	
減少要因	林道わきなどに生育するため、過度な草刈りなどによる減少や、道路拡張などによる環境の改変。	
保全対策	工事の際には慎重を期する。また、草地環境の維持のために適度な草刈りを行うなどの対策が必要。	
特記事項		
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ 保育社 1961 日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類 平凡社 1982 滋賀県で大切にすべき野生生物 滋賀県 2005	

文責:福岡義洋